

## 東北税政連だより

No.175

税理士の権益の維持とその拡大のために税政連があります

### 研修会及び後援会会長連絡会議を開催

7月12日、東北税理士会館会議室において研修会及び後援会会長連絡会議を開催、各後援会会長及び幹事長23名、当連盟役員19名が参加した。

冒頭、青木正会長より「第26回参議院議員通常選挙では本連盟推薦候補者4名のうち、3名が当選した。ひとえに税理士による後援会の働きが大きな力となっており、今後も後援会活動をより活性化させて国会議員等と良好な関係を構築していただきたい」旨あいさつがあった。

前半は東北税理士会倉成磨調



査研究部長による「税制改正建議と税政連の役割」をテーマとした研修会を開催し、後半の後援会会長連絡会議では、小山内後援会対策委員長から5月18日に開催された全国後援会活動活性化会議の報告後、吉田幹事長の進行により、選挙活動状況の発表、後援会組織のあり方について協議が行われた。税制改正への陳情については、各後援会より活動状況の報告等、諸問題について意見交換が行われた。



### 第49回定期大会を開催

7月15日、ホテルメトロポリタン山形（山形市）において、第49回定期大会が開催された。

大津史彦副幹事長の司会で進行し、川合賢助副会長の開会の辞に続き、斎藤榮一会長より、「税理士会が建議していた項目のうち、税理士法改正は実現したものの、適格請求書等保存方式（インボイス制度）、消費税の非課税取引、基礎的な人的控除のあり方のそれぞれの見直しと災害損失控除の創設には至らなかった。今後についてはインボイス制度の導入延期や相続時精



#### 山形県税理士政治連盟

算課税により贈与した財産について、贈与後の災害等により納税者の負担が大きくなる特例措置が必要となる。そのためにも陳情活動を前倒し、早期に開始したい」とのあいさつがあった。続いて、議長に平山康介会員、副議長に須藤隆会員を選出し、第1号議案から第5号議案までが審議され、全議案が満場一致で可決承認された。

次いで、伊藤純会員が大会決議文を読み上げ、今後一年間の運動方針を全員で確認した。

また、舟山康江参議院議員、東北税理士政治連盟武田孫市副会長、東北税理士会桑弘道専務理事、山形県支部連合会高橋龍二会長、遠藤利明衆議院議員秘書より祝辞をいただいた。

最後に、佐藤登美子副会長が閉会を宣し定期大会は終了した。

### 第49回定期大会を開催

7月20日、パレスへいあん（仙台市）において、第49回定期大会が開催された。

大会は、長谷川光政副幹事長の司会により、はじめに、武田孫市会長から、会員の支援に対する感謝の言葉の後、「会長に選任いただき一年が過ぎようとしている。その間、第49回衆議院議員選挙、第26回参議院議員選挙が開催され、衆議院選挙において小野寺議員、土井議員、秋葉議員、西村議員の4名を推薦候補として応援し全員が当選した。参議院選挙では、桜井議員を推薦候補として応援し当選した。これらの活動に当たり、各議員の後援会、会員の皆様に深く感謝したい。



#### 宮城県税理士政治連盟

コロナ禍の制約により、税制改正に関する陳情行動、後援会との情報交換など税政連としての情報交換の機会が少なく、思うような成果が得られなかったと反省している。従来の活動方向に早期に戻るよう念願するとともに、税政連活動に鋭意努力して、力強く前進して参りたい」とのあいさつがあった。

続いて議長に千葉勇喜会員が指名され、議事に入った。第1号議案から第5号議案が審議され、その中で会員提案として「より具体的な取り組み内容を提示して欲しい」、「予算で準備金繰入に金額があれば支出するべき」との意見があった。採決に入り、全議案は、満場一致で可決承認された。

最後に、来賓の東北税理士会高澤圭一会長より「東北税理士会として所得税の雑損控除制度を改正し、災害損失控除の創設を重点建議項目として引き続き取り上げていく。更に、インボイスについては、導入に際し混乱することなく円滑に行われることを重視し、議員の先生方への陳情を



税政連の皆様をお願いしたい」との祝辞をいただいた。

続いて、東北税理士政治連盟青木正会長より「これまで災害税制について国会議員及び財務省と何度となく陳情を重ねてきた。災害税制については、日税政の令和5年度の税制改正建議の重点項目からは外れたものの、主な建議の1

0項目のうち順位1番目に置かれている。引き続き陳情を行っていく。インボイス導入については免税業者が市場から排除されないよう、陳情を行っていきたい。今後とも税制改正の建議・要望の実現のため活動頂きますようお願いしたい」との祝辞をいただき、定期大会は終了した。

## 令和4年度定期大会を開催

青森県税理士政治連盟

7月21日、ホテル青森（青森市）において令和4年度定期大会が開催された。

本年は、新型コロナウイルス感染症対策のため来賓者の出席を見合わせるとともに、大会開始前に参加者全員の抗原検査を行った上で、少人数での開催となった。

田中文貴副幹事長の司会により石塚徹副会長の開会の辞に始まり、西村晴夫会長より先の衆議院選挙での後援候補全員当選へのお礼のあいさつ後、議事に入った。

議案審議では、第1号議案の事業報告、第3号議案の事業計画については長谷川有実幹事長より、第2号議案の収支決算書、第4号議案の収支予算書については、里村敏明

副幹事長よりそれぞれ説明がなされ、出席者全員の賛成により大会提出議案はすべて原案どおり可決承認された。最後に佐々木泰司副会長の閉会の辞をもって、無事終了した。



## 税制改正要望について陳情

7月25日、櫻井充参議院議員事務所（仙台市）において、櫻井充参議院議員、若松謙維参議院議員へ令和5年度税制改正要望について陳情を行った。

### <出席者>

櫻井充参議院議員、若松謙維参議院議員  
東北税理士政治連盟青木正会長、同吉田恵幸幹事長  
宮城県税理士政治連盟武田孫市会長、同有坂信彦幹事長



## 税制改正要望について陳情

8月11日、郡山ビューホテルアネックス（郡山市）において根本匠衆議院議員へ令和5年度税制改正要望について陳情を行った。

### <出席者>

根本匠衆議院議員  
東北税理士政治連盟青木正会長、  
福島県税理士政治連盟大橋健二会長、  
東北税理士政治連盟吉田恵幸幹事長、  
根本匠後援会柳内一彦会長

### <内容>

#### 1. 消費税インボイス方式導入における過大な事務負担軽減のための要望及び非課税取引範囲を縮小することへの要望

具体的な消費税の計算例を説明し、複数税率導入後の実務対応現状及び適格請求書等保存方式導入に当たってのインボイスの取扱いにおける事務負担の大幅な増加の現状を訴えた。またインボイス方式導入に当たって、免税事業者が課税事業者を選択した場合に取引業者から仕事が減らされてしまう、いわゆる弱者いじめになる可能性がある現状を説明し、消費税の申告だけでなく取引そのものを与える影響の大きさを訴えた。根本議員からは税理士会としての具体的な改善要望について質問があり、税理士会としての柔軟な運用提言を説明し理解をいただいた。

#### 2. 災害損失控除の創設について要望

数年続けての要望事項であり、東北税政連としては最も

力を入れて要望している項目であるが、なかなか要望実現に至らないことから、具体的に提案内容を見直してきた経緯などを説明し、要望事項としては雑損控除の繰越期間を3年から5年に延ばすのが適正であるとの一点に絞って要望を行った。東日本大震災時は特例として5年が認められたが、毎年のようにどこで大規模な災害が生じてもおかしくない現状から、大規模災害の場合には復旧までに時間がかかり3年ではあつという間に期限を迎えてしまうことを説明し、特例ではなく恒常的の制度に改正すべきと強く訴えた。



根本議員より、要望が実現に至らないハードルは何かとの質問に対し、繰越期間を5年とする対象者をどこまでとするか、損害額をどのように算定するか、長期間にわたる繰越金の管理をどのようにするか、損害保険金や関連補助金との関係をどのようにするかなどが課題としてあり、具体的な対応策を説明し理解を深めていただいた。

昨年根本議員の尽力もあり、災害税制の担当部署である内閣府防災局を紹介いただいて陳情を行った経緯があり、更なる働きかけをお願いした。税制改正要望については8月末までに各府省庁から財務省・総務省への税制改正要望事項に記載されないと実現は難しいことから今回の陳情にいたった。